



須坂市立須坂小・須坂支援学校 校長室だより

令和5年5月2日

第1号

みすどかる

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:小松賢吾(校長)

校長としてお世話になる小松賢吾です。長野市立吉田小学校より参りました。よろしくお願いします。私の他にも小学校8名、支援学校11名の職員が新しく仲間になりました。新任職員については、各学校の学校だよりにて紹介させていただきますのでご確認ください。

令和5年度須坂小学校・須坂支援学校スタート



4月6日には小学校に32名、4月7日には支援学校小学部に3名と中学部に2名を迎えるための入学式を、満開の桜のもと、全校で行うことができました。小学校は211名、支援学校は、小学部23名、中学部10名の計33名でのスタートとなりました。本年度は、須坂小学校が創立150周年を迎え、保護者の皆様や地域の皆様には、例年以上にご協力いただくことが出てくると思いますが、よろしくお願いいたします。

この3月までは、コロナ禍でさまざまなことが中止になったり制限されたりしていましたが、やっと日常を取り戻しつつあり、子どもたちの笑顔を日々見ることができ、うれしかぎりです。先日も、小学校では体育館に全校が集まって行う、久しぶりの運動集会を行うことができました。全校が集まってやることで、先輩の姿から学ぶことも多く、学校の一体感をつくっていくためにも、こういう機会をこれからも大事にしていきたいと思います。



自分らしさと子どもらしさ

私は、小学校も支援学校も本当に素敵な子どもたちだと感じています。小学校の登校の様子を見に行けば、班長さんを先頭に、当然のようにまっすぐ一列で歩いています。交通安全面からも防犯面からも、



大事なことです。また、挨拶を自分から大きな声でしてくれる子どもが非常に多いことにも驚きました。社会に出たときに挨拶ができるというのは、円滑な人間関係をつくるためにとても

大事な力です。また、支援学校の子どもたちも、仲間と一緒にその時間をせいっぱいに、自己実現に向けて自分らしく生活しています。これも大事な生きる力だと思います。

私は両校の子どもたち全員が、「自分らしく」納得のいく一日一日を送ってほしいと思っています。小学校にも支援学校にもさまざまなお子さんがいます。社会にもさまざまな方がいます。お互いの「自分らしさ」を尊重し合える、そんなやさしい学校にし、やさしい社会の形成者になってほしいと思います。また、本校の子どもたちはとても「子どもらしい子ども」だとも思います。人なつこく、気さくにあいさつをしてくれたり、笑顔で話しかけてきてくれたりします。自分の思ったことをストレートに出したり、休み時間には思い切り外で体を動かしたりもしています。これも大事なことで、子どもらしい子ども時代を過ごしてこない、大人らしい大人になっていかない気がしています。しっかりと「子どもらしさ」を満喫した先にある、大人としての自立や自律を意識していかれたらと思っています。小学生というのはそんな人間としての基礎をつくる時です。今年もさまざまな学校行事や日々の生活を通し、今だからできること、今しかできないことをしっかり経験してもらいたいと思います。ご理解とご協力、よろしく願いいたします。

本校が目指す子どもの姿（学校グランドデザインより）

小学校、支援学校ともに、学校の目指す方向をまとめた「学校グランドデザイン」というものがあります。これは近日中に両校のホームページに掲載しますので、見ていただけたらと思いますが、学校全体が目指す方向として学校教育目標があります。その下に「めざす子どもの姿」があります。小学校は「自分から」「つながる」「認め合う」というキーワード、「自分から、自分で、せいっぱい～自分らしく輝く子ども」とあります。3月には、自分のお子さんの姿として、この視点での成長ができたのか一緒に評価していただけたらと思います。

須坂小学校

【学校教育目標】

自ら学び続け、共生社会を主体的に生きる児童の育成

あした文化の花をつみ 真理の泉ともに汲み 我らが道を求めゆく

<めざす子どもの姿> 「自分から」「つながる」「認め合う」

須坂支援学校

【学校教育目標】

自分の力を精一杯発揮しながら、仲間とともに地域で心豊かに生きる子どもの育成

<めざす子どもの姿> 「自分から、自分で、せいっぱい」自分らしく輝く子ども

どちらの学校にも共通するのは「自分から」です。自分の頭で考え、自分で判断し、自分で決めて行動する。そんな子どもたちに育ててほしいと思っています。学校での生活や行事などを通して、そんな経験を重視していきます。ご家庭でも意識していただけるとありがたいです。

「共にある学校」のよさを生かした学校づくり

4月14日に避難訓練を行いました。小学校も支援学校も同じ校舎で生活しているため、当然同じ場所に避難します。どちらの学校にも、普段と違う非日常的なことが苦手なお子さんがあります。支援学校のお子さんには不安定になり、その場に座っていられなくなったり、声を出して不安な気持ちを伝えてきたりするお子さんもいます。でも、誰もその子たちに対して不思議そうに見たり、気にしたりする様子



子がありませんでした。共に生活をする中で「さまざまな人がいて当たり前」という感覚が身についているのでしょうか。社会に出ればさまざまな人がいます。自分と違う人がいて当たり前、という感覚が身についているのでしょうか。本校は県下で唯一、というより全国的に見ても珍しい、一つの校舎に小学校と支援学校が「共にある学校」です。どちらか一方にとって都合のいい学校ではなく、双方にとって「共にある学校」の良さを感じられる学校づくりを、さらに進めていきたいと思っています。

休み時間には、小学校と支援学校の児童が一緒に野球を楽しむ姿もあります。



須坂小学校の中にも特別支援学級（自閉症・情緒障害児学級）、まなびの教室（LD等通級指導教室）、ことばの教室（言語障がい通級指導教室）があり、これだけ多様な学びの場が集まっている環境はかなり珍しいことだと思います。本校特有のリソースを活用して、さまざまなお子さんに合わせて、柔軟に学びの場を検討してまいります。また、必要に応じて校外の専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）も交えて、みんなで支援方法を検討し、よりよい支援を進める体制を整えていきます。もし、お子さんのことで気になることや心配なことなどがありましたら、学級担任や特別支援教育コーディネーターなど本校職員誰にでもお気軽にご相談ください。保護者の方と相談しながら、その子に合った支援の方法を一緒に探していきたいと思っています。

各種相談窓口（担任以外で） ※両校共通

- 心や体、発育などの相談 → **保健室(養護教諭)**
- 学習面や行動面で気になることや相談
→ **特別支援コーディネーター**
- 学校生活全般での悩みや相談先の相談など
→ **教頭、校長をはじめ、職員誰にでも**

連絡とお願い

○5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」になり、今までとは学校の対応も変わる部分があります。基本的な新型コロナ対応について、長野県教育委員会保険厚生課より次のような方向が示されましたので、本校もこれに準じていきます。要点をまとめましたのでご確認ください。

- ・ **感染した場合** →発熱などの症状があった場合の陽性者は、発症した後5日を経過し、症状がなくなってから1日を経過するまで出席停止。発症から10日を経過するまではマスク着用を推奨。
 - ※ 無症状陽性の場合、検体接種日から5日を経過するまでは出席停止。
- ・ **感染した後の再登校** →須坂市では、出席停止期間終了報告書の提出は不要。
- ・ **同居の家族等が発症** →濃厚接触者特定は行わないため出席停止の必要なし。
(発症から7日間是要健康観察。マスク着用推奨、強制はなし)
- ・ **児童生徒の発熱や咽頭痛など** →休養が重要なので、無理して登校しない。
(出席停止ではなく、病欠欠席扱い)
- ・ **感染が不安な場合** →本人に基礎疾患、同居の家族に高齢者や基礎疾患ありの場合、校長の判断で必要な期間出席停止も可能。
- ・ **健康観察** →体調に異常がないか要確認、必要に応じて検温をする。(健康チェックカードの提出は不要。必要に応じて連絡帳などで連絡を取り合う。心配な場合や、判断に迷う場合には教頭にご相談ください)
- ・ **マスクの着用** →着用は求めない。(家庭の判断でつけてもよい)
- ・ **換気** →原則として窓を常時開放は継続。
- ・ **手洗い** →石けん等による丁寧な手洗いをする。
 - ※ 発熱等、体調不良時はお迎えをお願いすることがあります。
 - ※ 近隣地域や校内で感染が流行してきた場合には、対応が変わることがあります。対応が変わる場合には、改めて連絡いたします。

○学校の活動中に大きな地震が起きた場合には、通信設備の不具合でメール送信や連絡網が機能しない可能性もあります。須坂市の方針として、震度5以上の地震が起きた場合には、学校から連絡がいかなくとも子どもたちは学校に留め置き、原則として保護者への引き渡しになります。ご承知おきいただき対応くださるようお願いいたします。

○昨日の交通安全教室の折に自転車点検を専門業者の皆様にしていただき、不良個所がある場合には、黄色いタグがつけられています。多くはベルの破損や不良でしたが、チェック項目を確認いただき、対応いただいてから乗るようにお願いします。

○5月いっぱい、SBCラジオのCM枠で本校の校歌と夢コメントが流れます。放送日時は複数校がランダムに流れるようです。宝探しのように楽しんでみてください。

○行動規制のなくなったゴールデンウィークは、久しぶりにたくさんの方が動くと思われています。須坂市内でも、県外車を見かけることが増えています。地理に不案内な方の運転している車がいるということを念頭に、安全に過ごせるよう家庭での生活を願います。また、新型コロナの感染者も増えてきています。引き続き感染対策をお願いします。大きな事故やケガなどがあれば、市役所を通して学校へ連絡をお願いいたします。

須坂市役所：245-1400